

嘉麻市社協だより

No. 93

発行日/2013.11.1

えがお

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

楽しい思い出 たくさん作ろうね ～足白小学校～



地域の方たちと歩んできた140年 足白小学校の取り組み

明治7年に設立された足白小学校は、来年3月に嘉穂地区の5つの小学校が統合されるため、140年の歴史に幕を閉じることになります。

最後の一年となる今年には、児童と共にたくさんのおいしさを味わうこと、PTAの方たちが中心となって閉校記念事業実行委員会を立ち上げました。

4月には東日本大震災の被災地から譲り受けて育てたカモミールの種を風船につけて飛ばしたり、8月には地域の方の協力を得て集めた



▲カモミールの種をつけた風船をみんなで飛ばしました



▲手作りのペットボトル 灯籠の灯り

ペットボトルを加工して740あまりの灯籠をつくり、キャンドルナイトを開催されました。

このように、児童や先生、保護者だけでなく、地域の方々も準備の段階から積極的に参加されていて、その背景には、足白村だったころから続く「全村PTA」という取り組みがあるそうです。これは、足白地区に住む住民全員が保護者のような関わりを持つというものです。

白石章二校長は「長い間、たくさんの方々に支えられてきた小学校です。この取り組みが皆さんの交流の機会となってきたのだと思います」と全村PTAが果たしてきた役割を語られ、閉校については「寂しさを感じている方は多いと思います



▲灯籠づくりを手伝う卒業生のみなさん

が、逆に閉校イベントを盛り上げて、新たなつながりを作っていくこととするみなさんのパワーはすごいですよ」と話されました。

来年1月には、十数年ぶりにどんど焼きを復活させようと、準備が進められているそうです。6年生の男児は「今年は閉校のイベントがたくさんあって楽しい。最後までいっぱいおいしさを味わいたい」と笑顔で話してくれました。

また、地域住民の方にお話を伺うと、「足白小学校の自慢は全村PTA。閉校したあともみんなが集えるような場所であってほしいです」と地域のつながりの継続を願われています。

山田ふれあいハウスに 福祉避難所 を開設

平成25年10月8日(火)、台風24号の接近にともない、福祉避難所である山田ふれあいハウスに2名の方が自主避難され、不安な夜を過ごされました。

幸い、大きな被害はありませんでしたので、翌日には、安心して帰宅されました。



◀ 40畳の広々とした和室



▲白熱した卓球の試合

この日は、年に一度の交流会が行われていて、参加されたみなさんは、日頃のサロンよりも長い時間、おしゃべりや輪投げ、ダーツ、卓球などを楽しまれていました。卓球は、低い台に

9月19日(木)、木城帝王山の会におじゃましました。

ふれあい・いきいきサロンにおじゃましました

集いやすく、親しみやすい木城帝王山の会には、明るく元気な笑い声があふれていました。

参加者の佐々木チドリさんは、近所のお友達から声をかけてもらい、今年の春から参加するようになったそうです。「今日は、いつもより長くおしゃべりできて嬉しいね。ゲームは難しいけど、みんなでやると楽しいな」と笑顔で話されました。



▲輪になっておしゃべりに花が咲きます

地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)のご案内

本会は、日常の金銭管理や通帳等の保管、福祉サービスの利用方法などでお困りの方を支援する、地域福祉権利擁護事業を実施しています。

現在、嘉麻市では14名の方が利用されており、日常生活を支援する生活支援員(本会職員)が、利用する方に応じた支援計画にそって、生活費の引き出しや公共料金等の支払いをしています。また、その他の困りごとの相談にも応じながら、少しずつ安定した生活ができるように一緒に歩んでいますので、お気軽にお問い合わせください。

【利用できるのは】

認知症、知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分なため日常生活でお困りの方(施設や病院に入所、入院されている場合でもご利用できます)

※ただし、契約の内容が理解できない程に判断能力が低下している方は成年後見制度の利用も考えられます。

【具体的な支援内容は】

- ・日常的な金銭の管理
- ・福祉サービスの利用に関する援助
- ・書類等の預かり

【利用料金は】

[金銭の管理及び福祉サービスの利用に関する援助を受ける場合] 1時間まで 1,000円
※以後、30分毎に350円が加算されます。
※生活保護を受給されている方は無料です。
※預貯金通帳や銀行印、年金証書などを預ける場合の利用料金等についての詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

【その他】

利用に際しては、事前に利用契約を結ぶことが必要です。

《お問い合わせ先》

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

本会では、介護をしている方の負担を軽減するために、大人用紙おむつを販売しています。ご注文いただいた商品は、ご自宅までお届けいたしますので、気軽にご連絡ください。

こんな商品が売っています♪

★介護相談の受付

紙おむつのことだけでなく、介護に関する相談にも応じています。

★幅広い品揃え

様々な方の排泄ケアに対応できるように、軽い尿モレ用品や紙おむつ、パッドなど幅広く揃えています。

★購入する前に

初めての方や使ってみたい商品がある方は、気軽にお電話ください。すべての商品のサンプルを用意していますので、まずはお試しください。

★1袋からでも注文可能

1袋から購入することができるので、おむつの置き場所に困りません。

TOP 1 リリーフパワフルパンツ ¥1,810~1,920

パンツタイプの紙おむつです。動きやすく、サイズも豊富(S~LL)尿吸収量(おしっこ3回分)



TOP 2 デオドラントライナー中量 ¥350

軽い尿モレ用パッドです。瞬間消臭で臭いが気になりません。尿吸収量(60cc)



TOP 3 紙パンツ用尿とりパッド 安心フィット ¥940

紙パンツ用おむつのパッドです。こまめに交換でき、経済的です。尿吸収量(2回分)



介護体験記

上在住 飯田 篤子

要介護2の91歳の姑と同居して十年が過ぎたところだ。

姑の介護：私に出来ないわけがない、と高を括つてのスタートでした。幻覚、幻聴に伴い、高齢者特有の不安発作で呼吸困難に陥る日々でした。加えて、不満話や体調不良の訴えに対応しているうちに、私の心の不安定に気づきました。それでも、「やらねば」「やるはず」と頑張り続けた結果、行き詰ってしまいました。話かけがスムーズにできない自分を責めては、落ち込むことの連続でした。理解してくれない夫や兄弟に腹も立ちました。私は、心を隠して優しさを演じていたように思います。ケアマネジャーの方や

プロの方々に助けられて今は少し余裕が出ています。幻覚、幻聴にも楽しく付き合えています。「助けて」「手伝って」と誰にも言えなかつたのですが、今では夫や兄弟に相談することができています。

姑は孫からの電話が何よりも楽しみで、会話することで、草花、時間、季節などを理解し、興味を持つようになり、一歩前進だとうれしく思います。『介護は笑顔で優しく』という活字をたくさん見ます。正しいと思いますが、とても難しいことだと実感しています。

どうぞ、近くにお住いの方「大変ね」と声をかけて下さい。その一声から「在宅介護者の集い」等へと繋がっていけばと願っています。介護者の心の健康がとても重要だと思えますので。

便利な介護用品紹介 8

「骨盤ベルト」

この商品は、腰痛時に患部を固定したり、腰の負担を軽くし動きやすくするために使用されています。内側がメッシュ生地になっていて、通気性が良く、蒸れにくい仕様になっています。また、ベルトを留める部分が2カ所あるため、しっかりと固定することができます。

骨盤ベルトを使用しているAさんは、「簡単に留めることができ、動いてもずれにくいのでいいですよ」と言います。ふつうのベルトよりも幅が小さいため、腰を曲げるときにも違和感がなく、長時間着けていられるので便利だと喜ばれています。



稲築住民センターに介護用品の展示コーナーを設けています。販売の斡旋も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

嘉麻市社会福祉協議会
0948-42-0751

配食サービス弁当容器の入札仕様書配布のお知らせ

本会は、高齢者や障がいのある方に365日夕食弁当を配達してします。

この度、平成26年度の配食サービスで使用する弁当容器の入札を実施するにあたり、下記により仕様書を配布いたしますので、お知らせします。

記

1. 参加資格

指定した弁当容器と汁カップを毎月指定した場所に納品できる業者(市内・市外を問わず)

2. 配布期間

平成25年12月2日(月)～12月13日(金)

午前8時30分～午後5時まで

3. 配布場所

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内
電話番号 0948-42-0751

4. その他

仕様書の受領の際は、会社名、所在地、商号・名称、代表者名を記入していただきます。代理人が受領される場合は、代理人の方の印鑑も必要です。

社協会員加入のお願い

本会では、年間を通して社協会員を募集しています。会員のみなさまからいただく会費は、地域で助け合う活動を支援したり、子どもの育ちを応援するなど様々な事業に役立てられています。ぜひ会員に加入いただき、福祉のまちづくりにご協力ください。

一般・法人・団体会員

一口 1,000円

支援物資をお寄せください

今年もホームレスの方々が厳しい寒さを乗り越えることができるよう越冬支援物資を募集します。お寄せいただいた物資は、NPO法人北九州ホームレス支援機構を通じて、ホームレスの方にお届けしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

【募集する物資】

毛布・防寒着(ジャンパー、ダウンジャケットなど)・手袋・靴下・ズボン下(厚手)

※お寄せいただく際は、洗濯もしくはクリーニングをお願いいたします。

【募集期間】

平成25年11月1日(金)～12月27日(金)

【受付場所】

稲築住民センター(岩崎1143番地3)

クリスマスコンサートのお知らせ

日時 平成25年12月21日(土)

会場 午後1時～午後2時

山田ふれあいハウス(嘉麻市上山田502-6)

出演者 古賀稲子さん、中西智子さん

トゥインクル・キャッツのみなさん

内容 第1部 ピアノ、フルートの演奏

第2部 トゥインクル・キャッツのみなさんによる合奏

入場料 無 料

問い合わせ先 山田ふれあいハウス 0948-52-1847

お問い合わせ

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

「読めば答へが見つかるかな」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

問題

来年1月に臼白小学校で行われる予定の閉校記念イベントは何でしょうか。

- (1)カモミール種の風船飛ばし
- (2)キャンドルナイト
- (3)とんと焼き

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、11月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにて応募ください。

送付先

〒820-0205
嘉麻市岩崎1143番地3
嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: itiki@kana.syakyo.com

前号のクイズの答え (2)

萩市災害ボランティアセンターで、ボランティアと被災者をつなぐ班の名前は、マッチング班でした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・萩市の被害を知り、本当に残念です。とても素敵な街だったので、少しでも早く復旧し、復旧後の萩市に行って楽しみたいです。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



初めてのボランティア体験

7月から10月にかけて、稲築志耕館高校の1年生のみなさんは、事前学習でそれぞれが考えた思いやりの気持ちを形に表すため、5人1グループに分かれ、様々なボランティア活動を体験しました。

ボランティアグループの方々と公園の花壇の水やりや草とりをしたり、地域のふれあい・いきいきサロンで参加者の方々の話し相手や食事の準備をお手伝いしたり、福祉施設で利用者の方と話をしながらテーブルや椅子を拭いたりしました。

初めは、上手く声をかけられず、戸惑っている様子でしたが、緊張しながらも主体的に動いたり、声をかけたりすることで、徐々に参加者や利用者の方と打ち解けることができたようで、生徒のみなさんの表情には笑顔が浮かんでいました。

本会が運営する日中一時支援事業において、子どもたちの遊び相手のボランティアとして参加していただいた男子生徒からは、「不安もあったけど、やってみると楽しかったし、子どもたちと仲良くなれてよかったです。また手伝いに来たいと思います」と次の活動につながる前向きな感想を聞くことができました。今後も生徒のみなさんの活動を応援していきたいと思っています。



ボランティア募集 イベント情報

冬休み期間中のボランティア

※活動に際しては、事前登録、ボランティア活動保険への加入が必要です。

本会が実施する障がい児日中一時支援事業で、子どもたちと一緒に遊んでいただける方を募集しています。

日時 平成25年12月25日(水)～平成26年1月7日(火)
(12月29日～1月3日及び日曜日を除く)

※午前8時30分～午後5時の間で活動可能な時間帯で構いません。

場所 嘉麻北日中一時支援事業所(鴨生339 嘉穂特別支援学校横)
嘉麻南日中一時支援事業所(上山田502-6 山田ふれあいハウス内)

内容 障がいのある子どもたちの遊び相手、宿題の補助など

備考 動きやすい服装、時間帯によってはお弁当、飲み物をご準備ください。

アート展～嘉穂特別支援学校～

今年で17回目となる嘉穂特別支援学校アート展が開催されます。児童・生徒のみなさんが日ごろの学習の中で制作した手作り石鹼や貼り絵など、約200点が展示されます。入場は無料となっておりますので、ぜひご来場ください。

日時 平成25年11月26日(火)～12月2日(月) 午前9時～午後9時(最終日は午後3時まで)

場所 イオン九州(株) 穂波店 1階ふれあい広場(飯塚市枝国長浦666番地48)



ひょうりゆう 漂流老人 ホームレス社会



著者 / 森川 すいめい
出版社 / 朝日新聞出版

「漂流老人ホームレス社会」というタイトルに思わず目が留まり、この本を手に取りました。

そこには、東京池袋で2001年12月からホームレスの支援活動を続ける著者が見てきた現実や、病院、行政機関等でのやりとりが細かく紹介されています。(この活動は、TENOHASU「てのはし」という任意団体の立ち上げ、2008年NPO法人化とつながり、著者は、同法人の理事長を務めています。) 会社の倒産で失業し、年齢の壁によって再就職ができず、うつ病を発症したSさん。頼った兄とも折り合いが悪くなり、東京にむかったけれど状況は変わらず、お金も底をつき、心身ともに疲れ果て、公園で動けなくなった後、病院で亡くなられました。

不況のあおりでスナックを閉店し、娘夫婦のところで脑梗塞の夫とともに同居してから受け続けた娘の夫からの金の無心と暴力、それから逃れるために家を飛び出したTさん。

咽頭がんを患い、仕事も声も失って生活保護を受給したEさん。何もするこ

とのない家での生活とがんの再発の恐怖で再飲酒(アルコール依存)が始まり、再三救急搬送を繰り返した後に、生活保護を打ち切られ、路上生活となりました。

これらは、この本に登場するほんの一部の方々ですが、みなさん真面目に自分の人生を懸命に生きてこられていました。ただ歯車が一つ狂ったことでホームレス状態となり、そこから抜け出せずじまったり、また、そのまま亡くなられてしまっています。読み進むにつれて、この現実には、私たちのすぐそばで起こっている、(私誰に)にも起こりうる可能性があるにもかかわらず、どこか他人事としてしか捉えていない自分に気づかされました。

著者は、この活動をつうじて一人ひとりにやさしく声をかけ、医療や福祉の現場に結びつけ、どこで、どんな暮らしがしたいのかという、人としてあたり前の希望を口にできるよう辛抱強くうながしています。そこには、「その人が、その人らしく、生きやすい社会に…」という思いが貫かれています。

さらに、病院や行政関係者等に対する「経済競争力の糧にならない人間」を「どこかの病院や施設に入れる(目の前から見えなくなる)ことで安心していかないか」という著者のメッセージは、人間の尊厳に対する問いかけであり、自分の仕事のありようを見つめ直す、強烈なインパクトがありました。

この本に登場するホームレス状態にある方々の現実とおして、「人が生きるとは…」「家族とは…」「平等とは…」ということについて考えてみることで、貴重な一冊でした。(渡辺)

炭鉦の記憶



No.80

この3枚の写真は、炭鉦に興味を持たれている黒沢國浩さん(北九州市在住)からお寄せいただいたもので、山田地区梅林公園近くの山にある、炭住の跡地が撮影されています。左の写真に写っているものは、炭住の側溝と推測されます。右下の写真では、牛乳瓶や食器等が散乱しております。当時の生活が垣間見られるようです。



▲牛乳瓶や食器等が散乱しています

この炭鉦のことについて調べると、昭和11年に始まった日本炭礦(株)・山田鉦業所(通称、日炭山田)であることが分かりました。日炭山田は、昭和13年には1,141人の方が従事され、232,838トンの出炭量があり、当時の通商産業大臣から優良炭鉦として表彰を受けたこともあるそうです。しかし、水巻地区の日炭高松への配置転換によって、昭和34年10月に閉山となりました。日炭山田は、洗い炭をするための水

がないことに困り、貯水場を設置して石炭を洗っていたそうで、その遺構が写真に写っています。この炭鉦で働かれていた人や詳しく知っておられる方に巡り会うことができませんでしたが、この写真をきっかけに今後も調べていきたいと思っていますので、情報をお持ちの方は、お寄せいただければ幸いです。



▲水が流れていた炭住の側溝



▲洗炭用の貯水場

炭鉦時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。

TEL 0948 (42) 0751

今月のえがお

最近えがおになった出来事を教えてください！



☆最近えがおになった出来事について、4名の方にインタビューしました☆



れお 林 玲生くん
そなた 日高 颯汰くん
よねみつ 米光 優太くん

5年生以下が出場できる野球大会で、一緒に試合に出ることができました。3人そろっての出場はなかったので、とっても嬉しかったです★
これからも練習頑張るって、もっと上手くなるぞ!!!



田中 美里さん

最近、ハッピーなことがたくさんありました!!!
動物が大好きな私の家にワンちゃんが2匹もきたり、友達の進路が次々と決まっていったり、とても嬉しいです♪
私はまだ就活中ですが、友達の進路が決まり、とてもハッピーな気持ちになると同時に、私も頑張らなくちゃ!と思いました☆

秋冬ものも充実しています リユースセンター情報

碓井千歳会館にある子育てリユースセンターには、秋、冬の洋服が充実しています。ベビーラックやチャイルドシート等も寄せられていますが、大型ベビー用品はとても人気ですぐにリユースされ、探している方も多くいらっしゃいます。役目を終えたものがご家庭にある場合は、ぜひリユースセンターにお寄せください。



.....《問い合わせ先》.....
碓井千歳会館 ☎62-3538
.....《開館日時》.....
月曜日～金曜日(祝日、年末年始は除く)
8:30～17:00

多くの来場で賑わった



第6回碓井千歳会館フリーマーケット

指定葬祭場紹介

ひさつね会館

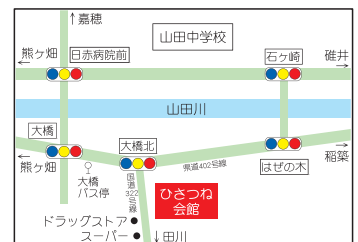
嘉麻市上山田 971-4
☎ 52-0758



▲ 最大 200 名収容できる大ホール

ひさつね会館では、経験豊かなスタッフが誠心誠意真心を込めて、故人の旅立ちのお手伝いをさせていただきます。

また、お客様のご予算に合わせて適切なプランを提供いたします。その他事前相談も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。



葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、ひさつね会館を含め、市内に8カ所あります。

- | | | | |
|-------------|----------|--------------|----------------|
| いすや会館 | ☎57-4444 | セレモニーホールおおつか | ☎52-1212 |
| かほ葬祭 あじさい会館 | ☎62-5566 | 善光会館 稲築会場 | ☎83-5000 |
| おかむら葬祭 岡村会館 | ☎42-4420 | 飛鳥会館 南斎場 | ☎(0120)42-2241 |
| きど葬祭やまさ碓井斎場 | ☎62-4499 | | |

みなさまの善意、
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

9月1日～9月30日受付分

●香典返し

【鴨生第一】

【辻中籠】

【下臼井西】

【下宮】

【大橋】

【中央】

【三菱第一】

【長野】

【中山田下】

【古河】

【嘉穂才田】

【桑野】

●初盆返し

【漆生本村】

【一般寄附】

【子育てリユース】

【アルミ缶】

【リングブル】

【子育てリユース】

【アルミ缶】

【リングブル】

【子育てリユース】

【アルミ缶】

【リングブル】

【子育てリユース】

【アルミ缶】

【リングブル】

【子育てリユース】

【アルミ缶】

【リングブル】

【子育てリユース】

【アルミ缶】

【リングブル】

【子育てリユース】

【アルミ缶】

【リングブル】

【子育てリユース】

【アルミ缶】

【リングブル】

【子育てリユース】

【アルミ缶】

あなたのお費が、社協の地域活動を支えています

9月1日～9月30日受付分

（敬称を省略させていただきます）

会員として、次の方々にご加入いただきました。

（昭嘉）篠原明代

（熊ヶ畑第二）大田桂子、道手フジ子、渡部豊子、大田守、平嶋正、筒丸千月、室井照美、本川泰子、広瀬澄夫、大里悠治

（百々谷）矢野愛子

（大橋）大村月代

（中央）黒川朝子、牟田幸子

（三菱第一）国崎博、上村二三男、中村順子、原キク子、山田はるみ、三宅康子、石井秀美、西恭子、椋真真

（中山田下）吉永静子、吉永敏嗣

（上西郷）有田美代子

（漆生本村）梅野ハツ子

（漆生中央）田中茶舗（二口）

（東岩崎）沖繁代、山下千恵子、香川静子、山下タマノ、山下巖、茶園ア

イ子、北原和江、赤間正久、井上進、平畑倫太郎、松尾宗幸、金丸剛司、福沢敬二、秋穂福光、秋穂美佐子、松岡フミ子、山本賢次、杉村力生、中嶋清光、中嶋ヨシエ、中嶋正光、松岡ミエ、松岡朝太郎、中嶋正江、中嶋久信、金源澄子、松岡麻里子、野上政代、山下久美子、瀬戸五六、山下君子、渡辺静江、金丸千鶴子、山下光雄、西野富士子、野見山久

下宮 三好 邦央 様
中央 明石 睦則 様
石ヶ崎 渡邊 とき 様
古河 甲斐 良子 様
大隈 大里 盛人 様
上午限 石本シゲ子 様
上午限 嘉穂洋瓦 様
下午限 小西美佳子 様
辻中籠行政区 西尾谷えがお組 様
琴平陶芸サークル 様
東尾谷えがお組 様
西岩崎 西岩崎 様
上午限 嘉穂洋瓦 様
嘉麻市役所保護課 様
嘉麻市子ども育成課 様
教育ナビゲーション 様

高倉清美、金丸マサ子、平塚道子、広田鶴子、井上勝之、松崎弘枝、須藤カツミ、松本寿弘、瀬上末男、松尾トシ子（二口）、滝本豊

（口春）福澤末男、橋本武彦、吉田宏正、上野博幸、倉智卓茂、梅野誠、福澤克彦、白石和子、西田篤志、永富敬太、福沢修、稗田泉子、野田一心、米村実、安部直樹、池野末光、廣石剛、恵原一郎、本多美枝子、仲西朋子

（漆生東）高原美由紀

（錢代坊）宮内トヨコ

（鴨生北町）ライフステイいなつき



12月の総合相談

法律相談は予約が必ず必要です。先着順となっておりますので、お早めにお申し込み下さい。

嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-42-0751

法律相談

☎とき：12月5日（木）
13:00～16:00

☎ところ：山田ふれあいハウス

☎とき：12月19日（木）
13:00～16:00

☎ところ：稲築住民センター

心配ごと相談

☎とき：12月11日（水）
13:00～15:00

☎ところ：稲築住民センター

☎とき：12月25日（水）
13:00～15:00

☎ところ：稲築住民センター

「故郷のこゝと・ば」

私は東京に住んで13年、稲築(あえて稲築と言わせてください)を出て20年以上になります。もちろん東京では「東京弁」です。(笑)「・・・じゃん」「だってさあ」「どうするの」などフツーに使います。でも不思議なことに福岡に降り立つ、家族と電話で話をすると、スイッチがパチツと切り替わるんです。「・・・やろうもん」「ばってんね」「どげんすると」いやー、自分でも不思議。意識してやろうとしてもこれがダメ。東京で筑豊弁、、、ダメダメ、しゃべれません。昔中学の頃、東京で働いていた兄が帰省した時、電話で東京の人と話をしていた「だってさあ」、ツクツクとしました。「気持ちの悪かー、兄ちゃんだってさあげな。」きつと今、帰省時の私は気持ち悪い時があるんだろつなと。(笑)



東京都世田谷区在住
永野 龍子さん
岩崎出身

東京で知り合いから「福岡弁聞かせて!」と何かの拍子に言われますが、(博多弁と北九州弁と筑豊弁の違いを一応訴えます)ダメです。え。ひと言ふた言話すんですが、東京という背景に全くF-Tしません。やはり、稲築の嘉麻川・田んぼ・関の山・緑のボタ山の風景の中じゃないと言葉が上ツ滑りしているようなんです。

地元の言葉も徐々に変化しているのを皆さんは気づいていますか?私が住んでいたところは「でたん」はありましたが、「ばり」は使っていなかった気がします。故郷も変化しているんだなと感じます。そういう変化も含めて故郷の言葉、大事にしてほしいです。

私の場合

「自殺したくなったら、図書館へ行こう!」というキャンペーンが2、3年前あったのを覚えていますか。お盆の間に、毎日35℃を超える暑さには「頭を冷やして図書館へ行こう」と言っているのは読書が大好きな私です。

涼しい室内から見える緑や、ワクワクするような内容の雑誌など、頭の中が「ウフフ・・・。楽しみ楽しみ」と言っています。だから、還暦を過ぎてても暇はあるけどお金がない。でも、まだあの世には行けない。だって、やりたい事がいっぱいあるのだから。

コラム 交差点

最近、BEER-PALという雑誌が一番面白いなあと思っている。9月号は「身近な自然を楽しむ」内容はヤングファミリー向けのようだけど、読んでいくうちに私の気分も30代!「いいなあ、こんなアウトドアライフ!」と思わせるところがこの本の魅力的なところ。実現するかどうかはまた別にして、今の夢は、愛犬と水の子供を川でカヌーに乗って川下りをする事です。もう一つは、最近、多数出版されている終活についての本。平均的に70代に身体の衰えが始まり、80代に頭脳の衰えが発現すると言われてるので、60代はとりあえず、終活の準備。フリーマーケットin飯塚を

長年やってきた我家には、10畳2部屋に服やガラクタが満杯である。これを必要な物と処分する。今年に入って、子育て用品リユースセンターの存在を知って、子ども服関連はそこへ届けています。私も三人の孫の服に必要な物はもうこのとができるので大変助かっているのだが、嘉麻市以外ではあまり知られていないようだ。図書館では、様々なジャンルの本が読みたい放題で、私にはパラダイス!!学習館では本の内容を書き取って、お金を稼いで、これからの人生どうやって楽しめるか思案中の毎日です。(桂川町 岡本千郷)

災害時にたくさんの方に情報を発信できるように、facebookページを、平成25年8月に開設しました。災害支援活動報告や日々の出来事を掲載しています。みなさんの、「いいね!」をお待ちしています。<https://www.facebook.com/kama.swc>

★ 編集後記 ★

先日、紙おむつを利用されている方から、困りごとの相談を受けました。

話したことで少しホッとされた様子で、解決できるように一緒に考えていくことになりました。このように、気軽に相談しやすい関係をこれからも作っていきたくです。(きはら)

『炭鉱の記憶』の取材では、食器や生活用品まで残っていることにびっくりしました。初めて出会った日炭山田という炭鉱ですが、まだまだ分からないことも多いので、今後も調べていきたいと思います。(みぞくち)

足白小学校の閉校イベントを取材しました。地域のみなさんで子どもを育てていくという「全村PTA」の取り組みが長年にわたって受け継がれてきていることを知り、閉校後も、続いていってほしいなと思いました。(たけがわ)

木城帝王山の会の取材では、初めてお会いし、お話しした方から、「広報紙楽しみにしているね。また遊びにおいで!」という言葉をいただき、とても嬉しくなりました。今後もより良い広報紙をつくるため努めていきたいと思います。(かわかみ)

アルミ缶や子育てリユースなど、先月もたくさんの方の寄附をいただきました。「広報紙に名前が載ると、近所の方に褒められるから嬉しい」と言って、子どもたちが一生懸命集めたアルミ缶を笑顔で持ってきてくれました。その子どもたちの行動に、とても感心しました。今月も、たくさんの方の笑顔をお待ちしています。(なかしま)

編集後記を書いている本会職員も似顔絵も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。